

発言内容	発言要旨
制度	<p>参加型の審査、市民投票をしたり、市民でも若い方に、学生の視点で投票してもらう。</p> <p>形だけにとられることなく頑張ったという感動が生まれ、他の人につたえていける様な手法が必要。</p> <p>案に、10人以上とあるが、テーマによっては(10人以上の設定が)難しいものもあるのでは</p> <p>大人枠と学生枠をつくる。そうすれば中高生も呼べる。</p> <p>取り組みだけでなく、社会課題解決のアイデアを募集してはどうでしょうか。</p> <p>制度はやってみないと解りません。社会課題がぼや~としていると感じますが、パフォーマンス(こんだけよくなったんですよ)が説明できればよいのではと思います。</p> <p>企業が入ってオール岡山で審査するのもいい。学生団体が受賞して、その学生がこの企業が面白いなおもって、地元の企業に就職していったり。企業が面白いとおもうかがネック</p> <p>NPOが蓄積している専門性、企業はビジネスの観点で、まちづくりの「ビジネスコンテスト」のような形ができれば面白い。</p> <p>大賞をとったら、学生がインターンしにきてくれる、半年とか。NPOは後継ぎがないので学生からひばってくる。</p> <p>たとえば企業(山陽新聞)はお金をもらうより、「社会貢献をした」みたいなことが広がるのがいい。メディアでオニビジョンとか。</p> <p>表彰は市民に認知をしていただくために、メディアを大いに利用し広くアピールしつつ、イベントを開催し、有名人に表彰状を渡されることがインパクトだと思います。</p> <p>表彰というのは現在評価されるということと、30年後40年後に岡山市民がどういう活動をやってきたかという記録になる。大事なもの。</p> <p>ベネッセ、クラレ、両備とか、大企業と協働する権利を与えてもらえる。商品開発や企画と一緒にすると、団体の箔がつく。</p> <p>大企業をスポンサーにして、表彰制度を設けるから社会課題のテーマを決めてもらうよう市がお願いしに行く。、特別審査員としても来庁してもらう。</p> <p>お金をもらってもわずか、表彰後にパーティーがあって、食事が出るものもいい</p> <p>パーティーに岡山出身のスポーツ選手とかが来るとよい</p> <p>メディアでの受賞の放送、掲載(oniビジョン、山陽新聞)</p> <p>副賞をもらって、市長と懇談会をする。</p> <p>受賞後に協働を続けていくためにサポートしてくれる仕組みがあればいい。</p> <p>大賞をとって、あまりお金の話も、何かをしてもらえるかのほうが。</p> <p>10万円ぐらいなら、ほかのものがいい。インセンティブになるもの。</p> <p>公共施設に、その団体のやっている活動のポスター、寄付募集を書いたポスターをはってもらえる。図書館とか、1か月とか。</p> <p>若い人が応募しやすいような仕掛け、TDRの入場券とかを賞にしてみる。</p>

発言内容	発言要旨
名称	おかやま協働のまちづくり大賞、このままでおさまる。
	まちづくり桃太郎大賞
	ぼっけえまちづくりアワード、アワードでも「賞」でもいい。
	「おかやま・まちづくり・協働大賞」
	テーマ、名称を公募する。
テーマ	毎年ここでテーマを決めると思う。テーマを決めるのがいいのか、ない方が課題が進むのかどちらがいいのか。
	テーマはいらないのでは。ESDか市民協働かで迷うなら、テーマは必要。
	応募する人がやりやすいテーマで。
	応募することに価値(意義)を見出してもらう。応募する人が何らかのメリットを感じられるようにする。
	最初のテーマをどうするかで(今後が)変わってくる。決めるのがいいか、ざっくりと協働がいいのか、難しいところ。
	素敵なまちの風景をつくろう。
	基本5項目を中心としたテーマを考える。毎年変わるのであれば順番に。名称も基本方針に沿って考える。計画と賞の内容があまりにもずれたら説明がつかない。
	認知症、交通ルール・マナー、子どもの貧困、子育て支援と出生率アップにつながること、少子化対策
	「高齢者介護」について
	推進計画の基本方針5項目を柱としたテーマが良いかと思います。
周知広報その他	チラシ、ポスターに新しさが欲しい。チラシ、ポスターのデザインで参加する団体があってもいい
	ゆるキャラが人気だが、ミコロ、ハコロなどの着ぐるみでアピール、市長自らアピール。
	有名人となにかCMとかをつくる。
	アピール期間＝強化月間のようなものをつくって持続させる。
	協働の新しいキャラクターを作る
	ピンバッチとかリボンとかで我々(委員、行政)が率先してアピールする、一体感を出す。